

セルフモニタリング報告書（令和7年度分）

令和 8 年 4 月 1 日

施設名：西部（錦岡・日新）児童センター
 指定管理者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
 所管課名：こども未来部 こども若者支援課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画に従い、適切に運営することができました。主に児童の体育的な嗜好を運動室で生かし、他の部屋を創作活動や娯楽活動、読書活動などに利用し、子どもたちが仲間とともに遊びを通して健全な心と体をつくっていけるように、放課後の生活における子どもたちへの支援を、利用者の意見を聴きながら創意工夫して行いました。幼児の利用についても、独自のイベントや外部講師を招いてのイベントなど、利用者に喜ばれるものを提供できました。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	両館ともに利用者は順調に増加しています。職員が利用者とコミュニケーションを取り、より一層地域密着型の施設にしていきます。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		—	—	—	—	—
自主事業は計画どおり行われたか。	令和7年度の自主事業計画はほぼ実施することができました。参加者からも好評価をいただきました。今後も利用者様目線に立ち、一層ニーズのある事業を行っていくことを次年度以降の課題として考えていきます。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	錦岡児童センターは、地域町内会長様をはじめ多くの役員の皆様とともに事業運営を行っています。また、地域の凌雲中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のメンバーとして、今後も地域や町内会等の課題を共有し、より良い施設になるよう推進していきます。日新では日新小学校と、日課の連絡、児童の指導などの相談の面で協力をしていただいています。また、明倫中のボランティア部との交流が多く、館内の装飾やイベント（祭）の手伝いなどの協力をいただいています。今年度は、社協のボランティアセンターとの連携、いとい北保育園との連携もできてきて、幅が広がってきました。	A	B	C	D	E

2. 利用者の満足度					
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートの結果でも多くの利用者の方から『満足』『やや満足』とのご回答をいただきました。今後も現状を維持向上していきたいと考えています。『児童センターは楽しい』という声、保護者からは『スタッフの対応が親切だ』という声が多いことから、利用者の評判も良いと思われます。	A	B	C	D E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	年2回アンケート調査を実施し、集約しています。また、意見箱を設置し、日常的に意見や要望を受けつけるようにしています。その結果は、ホームページなどを通して公開していくようにしています。	A	B	C	D E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からのご意見・ご要望・苦情は即座に対応し、その後、弊社エリアマネージャー及び青少年課の担当者に報告し、事故等の重要案件は職員全員が周知できるようにしています。	A	B	C	D E
3 管理運営の効率性					
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	これまでどおり、消耗品等の使用について、年間の予算内で十分に賄えています。消耗品の購入については、ストックを増やさず、数量を管理して発注することに努め、無駄を減らす努力をしています。また、日新は昨年度から、暖房が集中暖房からガス暖房に切り替わり、使用料等を比較すると大きな経費節減が図られました。今年度、ほぼ全部の照明のLED化が終了し、快適な環境となりました。	A	B	C	D E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	窓などの清掃の一部や外観管理を外部に委託しており、現場担当者と定期的に打ち合わせをしています。日常清掃に関しては、利用者が頻繁に使用する箇所は、職員が毎日自分たちで行うようにしています。	A	B	C	D E
収入増加のための取組はされているか。	貸館の利用については錦岡は前年並み、日新では大きく増加しました。コミセンさんの体育館閉鎖期間があり、その間の利用が大きく増えた要因であると考えられます。	A	B	C	D E
4 適正な管理運営					
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	全国で数多くの児童館を運営しているため、全国の数多くの事例を参考に、職員能力向上の取組を行っています。年間を通して、研修を計画的に行うことにより、職能の向上を図ってきました。スタッフの経験には差があり、動画での具体的な指導は参考になっています。新たに、支援員の資格取得研修を通し、有資格者を増やしています。	A	B	C	D E

安全対策（事故防止等）は十分だったか。	安全対策については、日常の見回りをはじめ、職員が用具・道具等を定期的に点検し、十分に安全が確認された後、利用者にご利用いただいています。また、万が一事故が起きた時の対応方法、対処方法を職員研修に位置付けています。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	人員配置は、仕様書および弊社規定に基づき運営を行っています。管理体制はセンター長・副センター長が中心となり配置確認表を作成し、エリアマネージャーや営業所長等が最終確認しながら運営管理しています。	適			不適	
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	貸館、年齢別利用など、不満なく適切に行われています。	適			不適	
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	弊社は全職員に対して入社時に個人情報の講習を行っています。また、会社全体でプライバシーマークを取得しており、利用者の個人情報保持のため管理しています。また、日頃利用する個人情報は児童センター事務所内の鍵のかかるロッカーで管理・保管しています。	適			不適	
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	利用者からの施設利用料については児童センター管理室内で受け取り後、センター長の一次受け取り・保管を経て、エリアマネージャー及び苫小牧営業所長が最終確認しています。複数の職員が管理することにより、不適切な会計処理が起きないようにしています。	適			不適	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	日常の点検を行いながら、定期的にチェックしています。また、法定点検、定期点検については、外部委託業者が管理し、安心安全に使える施設管理を行っています。	適			不適	
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	個人情報の記載がある書類は鍵のかかるロッカーに保管し、その他文書保管の年限に基づき、整理整頓して保存しています。また、備品管理台帳に基づき定期的に点検し、適切に管理しています。	適			不適	
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	全社共通の就業規則を基に職員研修を行い、全職員がコンプライアンスを重視した管理・運営を行っています。	適			不適	

5 地域貢献						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては全職員が苫小牧市在住で、多くの職員が地元出身者です。資材の調達・再委託も地元の業者を中心に行っています。学校や社会福祉施設と連携したイベントを企画・実施し、町内会での利用、子どもたちと近所の公園のゴミ拾い等を実施してきました。今後も一層、苫小牧市住民・地域住民の方との共生を目指し、その具体化に努めます。	A	B	C	D	E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価

★★★★☆

【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

苫小牧市西部（錦岡・日新）児童センターは、この間大きな事故もなく管理・運営できており、これは苫小牧市こども未来部こども若者支援課の皆様をはじめ、多くの方々にご指導をいただいているおかげと考えております。

利用人数に関しましては、錦岡はのべ約33,928名、日新はのべ23,847名の皆様にご利用・ご来館いただきました。保護者へのアンケートでは、『児童センターに行くことをいつも楽しみにしている。』『親切な対応で満足している。』など、喜んでいただいている声が多く聞かれています。このことは、館を運営させていただく側としては大変光栄に思っております。児童のアンケート結果では、遊具、ルール、イベントへの満足度、センターのスタッフの対応についての満足度などをみても高い評価であり、日々の業務へのやりがいを感じています。

次年度も多くの方に児童センターに足を運んでいただくために、多方面からのご意見や地域住民様のご意見、そして苫小牧市こども未来部こども若者支援課の皆様のご意見を参考にさせていただき、苫小牧地域に根付いた取り組みを行ってまいりたいと考えております。

幼児向けイベントは厚生員を中心に企画し、児童生徒向けイベントは厚生員・支援員を中心に企画しています。センター全体で協力し、また児童生徒の協力も得て、イベントを運営しております。その結果として、幼児の利用においてイベント等でも多くの来館者にお越しいただき、保護者同士のコミュニケーションの場としても利用されている実態がみられ、多くの皆様に受け入れられているといえます。さらに、高校生も体育会系の遊びをしに集まってくることから、児童センターでの遊びを楽しみに来てくれていることが実感できます。今後も多くの年代の子どもたちに好かれる児童センターとして、質の向上に努めていきたいと考えます。

引き続き利用者増加に向けて尽力していきたいと考えております。2026年度以降も経費削減も並行して実施していき、より一層の管理・運営を行ってまいります。